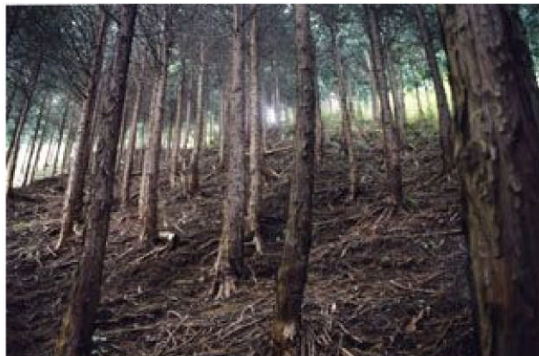


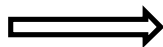
治山(ちさん)ってなあに？

健全な森林を育てることで、山崩れや土石流などが起こらないようにして、みんなの暮らしやきれいな水を守ったりしています。今から主なものを紹介します。



混み合って荒廃している森林

荒廃した森林で行うもの
【本数調整伐(ほんすうちょうせいばつ)など】



左の写真のように森林の中に光が入らないと、下草などが生えないから土が流れ出たりして、木も生きていけなくなるんだ。だから、木を間引いて森林の中に光を入れることで、健全な森林を育てて山崩れなどを防いでるんだよ。



森林づくりマスコットキャラクター「もりりん」

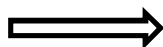


木を切って本数を減らすことで森林に光を入れる本数調整伐



土石流などで荒廃している溪流

荒廃した溪流などで行うもの
【谷止工(たにどめこう)など】



大雨で谷が削られないようにしたり、谷の中にたまった土石が流れないようにすることで、土石流を防止したり、水の流れを整えたりして、みんなの暮らしを守ってるよ。また、新たな山崩れが起こることも防ぐよ。

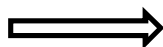


谷が削られないようにしたり土石が流れないようにする谷止工



山崩れが起きた森林

山崩れなどが起きたところで行うもの
【土留工(どどめこう)など】



崩れてきた土石の移動を防止したり、降った雨を安全なところに流したり、木を植えたり草を生やしたりして、早く森林に戻すことで、みんなの暮らしを守るよ。



崩れた斜面を森林に戻すための土留工や緑化工(りょくかこう)

平成21年7月梅雨災害における治山(ちさん)の効果

